

IBM Predictive Solutions Foundation on Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、会社、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受益者をいいます。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別個の「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

1.1 IBM Predictive Solutions Foundation on Cloud

IBM Predictive Solutions Foundation on Cloud は、基幹業務に関連する洞察を提供するために設計された、業界固有の新規コンテンツ、予測可能モデルの容易な開発、およびユーザー・エクスペリエンスを提供します。

フィーチャーおよび機能には以下が含まれます。

- 業種別コンテンツ – 化学 & 石油、電気 & ガス、自動車などの資産およびプロセスに対する各業界固有のクラウド・ベースのモデル、ダッシュボード、データ・スキーマ
- 容易な開発 – 対象分野の専門家 (オペレーションズ・エンジニアなど) が資産ライブラリーを活用して、IT やデータ・サイエンティストの支援を受けずに、クラウド上に正確なモデルを構築できるようにします。
- LoB 指向 – IT やデータ・サイエンティストの関与なしで、運用アナリストに予測可能な保守の洞察を提供できるように合わせた、クラウド・ベースの新たなユーザー・エクスペリエンスを提供します。

本「クラウド・サービス」は、個人情報やセンシティブ情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティ要件に合わせて設計されているわけではありません。お客様は、お客様が「クラウド・サービス」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「クラウド・サービス」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。

1.2 IBM Predictive Maintenance on Cloud

本「クラウド・サービス」により、ユーザーは資産を監視、維持、最適化して使用率とパフォーマンスを改善できます。このシステムは、発生する前に障害パターンを自動検出し、将来の障害を予測して、保守や修繕のリソースを事前に展開できるようにします。

1.3 IBM Analytics Solutions Foundation on Cloud

本「クラウド・サービス」は、データの取り込みからスコアの予測、資産のプロファイル作成とビジネスに関する洞察の視覚化に至るまで、分析上のニーズに対処する事前構築済みのプラットフォームです。本「クラウド・サービス」には、12TB のストレージと 100 万イベントが含まれます。

1.4 IBM Analytic Solutions Foundation Model Authoring on Cloud

本「クラウド・サービス」は、モデルやストリームの作成および処理に必要なクラウド・ベースの IBM SPSS Modeler Client 環境へのアクセスを提供します。

1.5 オプション機能

1.5.1 IBM Analytics Solution Foundation on Cloud Additional Storage

本「クラウド・サービス」は、お客様のデータベース要件を 4TB 単位で増大します。

1.5.2 IBM Analytics Solution Foundation on Cloud Additional Events

本「クラウド・サービス」は基本制限を上回るまでイベント分析を拡張するもので、100,000 イベント単位で購入できます。

2. セキュリティーの内容

本「クラウド・サービス」は、IBMの「クラウド・サービス」に関するデータのセキュリティーおよびプライバシー原則 (<https://www.ibm.com/cloud/resourcecenter/content/80> で入手可能) および本項で規定される追加条件に従います。IBMのデータのセキュリティーおよびプライバシーの原則が変更されることがあっても、それにより「クラウド・サービス」のセキュリティーのレベルが低下することはありません。

3. テクニカル・サポート

サブスクリプション期間中に「クラウド・サービス」に対して提供されるテクニカル・サポートは、<http://www.ibm.com/software/support/handbook.html> に掲載されている「IBM SaaS サポート・ハンドブック」またはIBMが提供する後継のURLに定めます。「テクニカル・サポート」は「クラウド・サービス」に含まれ、個別のオフリングとして提供されるものではありません。

4. エンタイトルメントおよび課金情報

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- a. 「**インスタンス**」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、特定の構成の「クラウド・サービス」へのアクセスを意味します。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび使用することが可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- b. 「**資産**」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「資産」とは、管理対象となる、あらゆる有形リソースまたは項目をいいます。これには、実稼働設備、施設、輸送機関、ITハードウェアおよびITソフトウェアが含まれます。「クラウド・サービス」で固有IDを保持するリソースまたは項目は、別々の「資産」となります。お客様は、お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」がアクセスまたは管理する「資産」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- c. 「**テラバイト**」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。1テラバイトは、2の40乗バイトです。お客様は、「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」が処理する「テラバイト」の総数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- d. 「**イベント**」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「イベント」のエンタイトルメントは、「クラウド・サービス」の使用に関連する特定のイベントの発生数に基づいています。「イベント」のエンタイトルメントは、当該「クラウド・サービス」に固有のもので、イベント種類は、別の「クラウド・サービス」またはイベント種類に対する他の「イベント」のエンタイトルメントと交換、置き換え、または集約することはできません。「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に発生するすべての「イベント」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

本「クラウド・サービス」において、「イベント」は100,000単位で販売されます。

4.2 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分ベースで算定される場合があります。

4.3 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントの範囲を超える場合には、お客様は、「取引文書」の記載に従い、その超過分について請求されます。

5. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBMがお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるのか、継続使用ベースで続行されるのか、期間満了時に終了するのかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続使用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用できます。

6. 追加情報

6.1 イネープリング・ソフトウェア

本「クラウド・サービス」には、「クラウド・サービス」期間にわたって、「クラウド・サービス」のお客様による使用に関連してのみ使用することのできるイネープリング・ソフトウェアが含まれます。

6.2 禁止事項

高リスク使用の禁止: お客様は、「クラウド・サービス」の障害が生命の危険、重大な人身傷害もしくは重大な物的損害または環境被害を招く可能性のあるアプリケーションまたは状況 (以下「高リスク使用」といいます。) で、「クラウド・サービス」を利用しないものとします。「高リスク使用」には、航空機、またはその他の人の大量輸送手段、核施設、化学施設、生命維持装置、体内埋込型医療機器、自動車、または兵器システムが含まれますが、これらに限定されるものではありません。「高リスク使用」には、その不具合が生命の危険、重大な人身傷害もしくは重大な物的損害または環境被害につながるもののない構成データ、エンジニアリングもしくは構成ツール、またはその他非管理アプリケーションを保管するための管理を目的とした「クラウド・サービス」の利用は含まれません。これらの非制御アプリケーションは、制御を実行するアプリケーションと通信することはできますが、制御機能には直接または間接に関与しないものとします。

6.3 使用制限

定義:

- a. **「IBM SaaS 成果物」**とは「IBM SaaS ユーザー」の「IBM SaaS 成果物」リストに記載される成果物をいいます。「IBM SaaS 成果物」は事前に定義され、事前に構成されたさまざまな資料で、予測可能モデル、ビジネス規則、メッセージ・フロー、ビジネス・インテリジェンス・モデル、レポート、アクティブ・レポート、ダッシュボード、マスター・データ管理モデル構造、データ・スキーマを含みますが、これらに限定されません。
- b. **「資産」**とは、管理対象となる、あらゆる有形リソースまたは項目をいいます。これには、実稼働設備、施設、輸送機関、IT ハードウェアおよび IT ソフトウェアが含まれます。

お客様は、「クラウド・サービス」を使用して、「IBM SaaS 成果物」を変更するか、または「IBM SaaS 成果物」を新規作成することができます (以下総称して「カスタマイズされた IBM SaaS 成果物」といいます)。

「IBM SaaS 成果物」および「カスタマイズされた IBM SaaS 成果物」は、本「クラウド・サービス」と別個に使用することはできません。

お客様は、「カスタマイズされた IBM SaaS 成果物」に関していかなるサポート義務も負いません。「クラウド・サービス」の保証は、「カスタマイズされた IBM SaaS 成果物」には適用されません。

「クラウド・サービス」は Predictive Maintenance on Cloud Data とのみ併用できます。Predictive Maintenance on Cloud Data は、お客様の「資産」に直接帰すことのできるデータ、またはコンテキスト・データを含む「資産」を分析するのに使用するデータです。